

オールナイト富士 HV500キロ耐久の当日の流れと手順

このイベントは TMSC 主催 マッドハウス共催の形で、基本 N ゼロ（ナンバー付き）ノーマルで開催されます。

30 台程度の HV 参加車で TMSC の会員のお祭りのイベントと解釈して下さい。
特に燃料に関しての公平性を目指します。

参加者各位は常識的な対応をお願い致します。

以下、手順と規定です。

1) ゲート開放時間。 16、30より

22時以降は管理がスピードウェイに変わるので、入場出来ません。入れる様に成るのは3時以降です。 必ず間に合う様に入場して下さい。

遅刻、又は車検終了に間に合わない車は出走は出来ません
(間に合う様に最大の努力はしますが、物理的に無理な場合も有ります。)

2) 受付は車検場内です。

3) 17時より車検開始。受付でボンダーとゼッケンを貰う。

ゼッケンはテープにて車輛へ、(左右のドア2枚に)

ボンダーはリアナンバープレートにガムテープでしっかり固定する。

(落としたり壊すとスピードウェイから参加者に実費の請求が行きます)

4) 燃料の給油。

車検場前のエネオスにて擦り切の満タンにして下さい。

この時は、協議車輛をスタンドでの指定されたタイヤ位置で給油の事。

5) 車検手順 主にチェックされる所。

ガス抜きに関して。

トヨタ、本田のマニュアルに準じて、トヨタ、本田、のディーラーメカニック監督の元で、技術の人間が作業します。

燃料の抜き取りは基本的に車輛の燃料ラインより抜きます。

やり方はカプラーを外して燃料が抜かれます。

(カプラーから燃料を抜くのを拒否される場合は競技から除外されます)

燃料タンク上部のエアを車を傾けたりして、給油していない事を確認して、タンクより車種により規定の量を抜きます。

この時、左右及び前後の車輛の傾斜をノーマルと同一とします。

車検後はサス調整による姿勢の変更やタイヤのエア圧変更はせきません。

タンクの変形等容量増しとラインパイプの改造は無いか？。

非接触温度計による燃料タンク及び周辺の温度の測定。

(ドライアイス、液化炭酸ガス等による燃料の冷却は無いか？)

ニトロメタンやベンゾールの混入はないか？

縦90ミリ、巾900ミリの板を使い車高のチェック。

各電気スイッチ類の用途以外の作動のチェック。

車検終了後は車輛保管となりますので、一切触れません。

終了後、排ガスのチェックを行います。

この様な内容で行われます。

又、参加者で自分の車と違う所を発見した方は、車検委員までお知らせ下さい。(車検時間中車輛保管中に限ります)

逆に許される改良及び改造。

テープ、ガムテープ、段ボール、を使つての、エンジンの保温、グリル穴埋めやボンネット、ドア等の隙間を埋めての空力改善。

(但し、車輛の輪郭を超えない事。ドアのテーピングは乗車する人間の出入りに支障が出ない事。

その他のお知らせ。

A及びBパドックでのバーベキューは禁止です(スピードウェイ曰く)そこ以外の場所なら問題無し。希望があれば指示します。

あくまでも遊びの観念で開催しております。

参加者、主催者等がいやな思いをする様な方はコース及びスピードウェイの敷地から退去して頂きます。

もう一度確認します。

クレーム、異議等は一切受け付けません。

担当 マッドハウス 杉山 哲